

## ニコニコ箱

ありがとうございました

- 三毛理一郎さん 週報ファイルをお買い上げ頂きまして有難うございます。  
 内畑 瑛造さん 吉田さん卓話楽しみにしています。  
 谷口 文利さん 吉田さん卓話楽しみです。  
 山本 進三さん 吉田篤ちゃん、今日は卓話よろしくお祈いします。  
 笹島 良雄さん 吉田さん、卓話御苦労様です。  
 堀岡 忠男さん 吉田様卓話よろしく、お楽しみですよ。  
 山野 武彦さん 吉田さん卓話楽しみにしています。  
 亀田 直紀さん 篤ちゃんががんばれ！  
 瀧川 嘉彦さん 吉田さん、卓話ががんばって下さい。  
 吉田 篤生さん みなさん、9/14 こぼと学園夏まつり、よろしくお祈いします。  
 林 毅 さん 妻にお誕生日の花束ありがとうございました。  
 村田 昌之さん 吉田青少年奉仕委員長、今日はよろしくお祈い致します。  
 上中 崇司さん 吉田委員長、本日の卓話よろしくお祈いします。  
 佐藤 義記さん 吉田委員長、宜しくお祈いします。  
 阪神タイガース応援団一同

本日の累計 36,800円(計14名 15件)(誕生日献金 55,000円 皆出席表彰 5,000円 その他 443,300円 累計額 503,300円)

市内ロータリークラブ情報	クラブ名	日 時	内 容
	和歌山城南R.C.	9月12日(木)	クラブフォーラム「I.D.M.発表」
	和歌山南R.C.	9月13日(金)	卓話 洋画家 中尾 安希さん
	和歌山中R.C.	9月13日(金)	国際交流パーティ
	和歌山北R.C.	9月16日(月)	祝日休会
	和歌山アゼリアR.C.	9月16日(月)	祝日休会
	和歌山R.C.	9月17日(火)	新入会員卓話
	和歌山東南R.C.	9月18日(水)	クラブフォーラム「東南育英会」
	和歌山西R.C.	9月18日(水)	例会変更

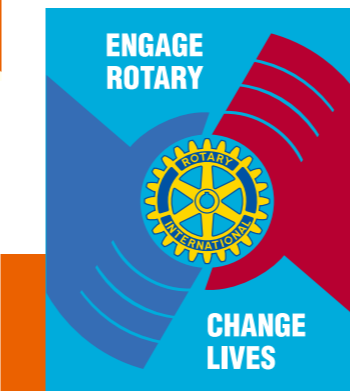
**本日の例会** 9月12日(木) P.M.6:30~ 於ダイワロイネットホテル4F **前回の例会** 9月5日(木)

- 和歌山北ロータリークラブとの合同例会
- ピアノ演奏 中井 利枝さん
  - 午後のそよ風 (J.S.Bach)
  - 思い出のワルツ (J.S.Bach)
- 卓話「こぼと学園について」 青少年奉仕委員長 吉田 篤生さん
- ロータリーソング 岸裏 廣澄 ソング副委員長
  - 「奉仕の理想」

**次回の例会** 9月19日(木) **メイキャップ** 敬称略

- 卓話「【美文字講座・ビジネス編】一目おかれる決まり文句の書き方」 美麗書院代表 北原 美麗さん
- 9月4日(水) 和歌山西R.C. 松田 洪毅
- 9月9日(月) 和歌山北R.C. 谷口 文利、堀岡 忠男、山野 武彦、吉田 篤生

国際ロータリー第2640地区 和歌山東ロータリークラブ 創立/1959年2月23日  
 例会場/ルミエール華月殿 和歌山市屋形町2-10 TEL (073)424-9392 例会日 木曜日 12時30分  
 事務局/〒640-8142 和歌山市三番丁6関西電ビル5F TEL (073)432-4343・FAX (073)432-4845  
 会報・広報委員会 亀田 直紀 後 亮 谷口 文利 笹島 良雄 吉増 亨



# 凛として原点に

2013~2014年度 和歌山東ロータリーのテーマ

ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を

2013~2014年度 国際ロータリーのテーマ

国際ロータリー 第2640地区 **和歌山東ロータリークラブ**  
 URL <http://www.werc.jp> E-mail [info@werc.jp](mailto:info@werc.jp)

2013年9月12日(木)  
 週報 / VOL.55 No.10  
 (通巻2603)

## 会長報告

村田 昌之 会長



〔ラジオ体操〕

ラジオ体操のルーツはNHKだと思っておりましたが、実は通信省の簡易保険局だそうです。NHKの長寿番組としてつとに知られていますが、放送が始まったのが1928年(昭和3年)11月1日「昭和天皇即位の大礼」の記念行事の1つとして制定されたのです。1923年(大正12年)5月、通信省簡易保険局の猪熊監督課長は、海外の保険事業の視察で米を訪れたときメトロポリタン生命保険会社が宣伝として、ラジオ体操を放送することを知りました。課長は帰国後、日本人の健康促進のためにラジオで体操を放送することを提案し、通信省簡易保険局、文部省、日本放送協会の協力のもと第1回の放送となったのです。振り付けは、郵便局の局員が土地の人達に教えたそうです。終戦後には軍国主義を連想させるとして、G.H.Q.の指導で一旦中止されました。ラジオ体操は、米国、ドイツ、チェコでも行われていましたが、今も続いているのは日本だけだそうです。

## 幹事報告

上中 崇司 幹事



- ・わかやま新報8月24日号に村田会長の記事が掲載されています。
- ・次の案内状及び報告書がきましたので、回覧します。  
 2640地区久保ガバナーより公式訪問のお礼状  
 インターアクトクラブ、リーダーシップフォーラムの御案内  
 ロータリーの友英語版注文書  
 第12回ロータリー全国囲碁大会のご案内状  
 ロータリー情報・冊子購入の御案内  
 こぼと学園だより、JCニュース
- ・次回の9月12日(木)は和歌山北ロータリークラブとの合同例会です。大勢の方のご出席をお願いします。

## 委員会報告 国際奉仕委員会

田原 久一 委員長



2640地区2014-2015年度ロータリー長期青少年交換の募集のご案内が届いております。派遣時期は2014年8月~2015年7月、出発時の年齢が18歳未満であること等となっております。募集締め切りは9月30日です。

## 出席報告

会員数 42名(内出席規定適用免除会員15名) 角谷 芳伸 出席副委員長

9月 5日(本 日)	27名	79.4%	8月22日(メイキャップ後)	26名	78.9%	(欠席7名)
------------	-----	-------	----------------	-----	-------	--------

皆さん、出席してください。

## ● 卓話「こぼと学園について」

青少年・高齢者委員会 委員長 吉田 篤生



今月は、新世代のための月間ということで卓話をさせていただきます。

我がクラブの新世代（青少年）のための活動はいくつかありますが、そのなかでも一番大きな柱となっているのは「こぼと学園」への支援です。今年度、村田会長の就任挨拶のクラブ活動方針のなかに7つの項目があげられていますが、そのなかのひとつに、

『「こぼと学園」 大きな柱として充実させていく。』

という方針が書かれております。

新しい会員も増えていますので、こぼと学園を知ってもらう為、また先輩方におかれましては、今までのこぼと学園との交流を思い出して頂き、支援の継続にこれからも協力していただきたく思い卓話させていただきます。

こぼと学園は昭和29年に設立されました。我がクラブの創立が1959年（昭和34年）ですので、それより以前です。場所は今と同じ直川、当時は昭和の合併前で海草郡直川村と呼ばれていたそうです。

設立時の定員は30名。戦後、戦災孤児をはじめとする両親のいない、或いは家庭のない子供達に対し、家庭の役割を果たす施設として開園されました。

昭和32年には建物を増築し60名へと定員数が増やされています。

昭和37年、38年、46年と昭和天皇より御下賜金（ごかしきん）を賜っています。

我がクラブの支援が何時始まったのかは、はっきりとした資料が見つかりませんでしたが、事務局の梅本さんが古い資料を調べてくれたところ、クラブ創立10周年記念誌に1969年1月の座談会というのがありまして、その中に座談会の2～3年前より支援が行われているとの文言がありました。ということは1966年か1967年…当クラブの50周年の記念誌には1966年の餅つき大会の写真がありますので、1966年開始なのかなと思われま。私が1966年（昭和41年）生まれなので、私の人生と同じ年月です。

その座談会の肝心の部分ですが、ちょっと長くなりますが紹介させて下さい。

「2、3年前から、餅つきを見たことがなく、つき立ての餅のあんころを食べたこともない孤児ばかりの小鳩学園へ年末に餅つき奉仕に行き、村の青年も奉仕を手伝ってくれ、子供達に餅つきを見せ、中津君の奉仕であんころを食べさせて非常に喜ばれて居るが、堀君のいわれるように、ぜいたくなお菓子をあげるより、このような奉仕を選ぶことが本当に生きた奉仕ではないでしょうか。」私は、その言葉の中に自分のやりたい奉仕の形と同じ気持ちを感じました。私が、こぼと学園との交流の中で一番思い出深いのが、寺下先生が会長の時に行った老人ホーム「和光院」の慰問です。その慰問には御婦人のコーラス隊と、こぼと学園の幼稚園児が我々のお手伝いに来てくれていました。子供達の出番前にじゃれあって遊んでいた時に、その中で一番の大きい子供（かなり大きかった）を抱っこして高く持ち上げて遊んでいると、引率の先生がその子供に「よかったね～。こんなに高く抱っこしてもらえるの初めてやね。」と言われたのです。先生によると、その子は大きすぎて女の先生方では持ち上げられなかったらしく、私にとって普通に出来ることでこんなに喜んでもらえる、しかも未体験の喜びを与えたのかな、と言う事が非常に心に残りました。上手く言い表せませんが、背伸びしなく奉仕はできるのかなど。先輩方の座談会では、それと同じことを言われているのだなと思いながら読ませて頂きました。

昭和57年には、和歌山西ライオンズクラブより卒園生帰省時宿泊所として「ひまわりの家」が寄贈されています。現在、ひまわりの家は卒園を控えた高校生が、将来の自活に備え、一定期間「ひとり暮らし体験」をする施設として利用されているそうです。

創立50年を経過し、平成18年には、県費（国庫）補助金の交付をうけ園舎の改築を行い現在の男子棟、女子・

幼児棟、管理棟が竣工されました。我がクラブからは新築のお祝いとして、子供たちの幸せを祈念し黒田画伯（会員）の描かれた「人形と鳥」という作品を寄贈しました。この絵は今も新舎の入り口に飾られ、子供たちを見守ってくれています。

平成23年には、従来別館としてバザー時等に使用していた建物を小規模グループケア施設クローバーの家としてリフォームしています。ここでは集団生活を送っている本体施設とは違い、児童定員6名（1～2人部屋）でより家庭に近い環境で子供たちをケアできるようになっています。

今年の4月にはもう一棟、小規模グループケア施設「あすなろの家」も開設されました。

8月末現在、2歳児から高校生までの57名の児童が暮らしております。

先に述べましたが、家庭、家族のない子供達の施設として創立されたこぼと学園ですが、現在入園している児童は、ほとんど親が存在するにもかかわらず、様々な家庭の事情（虐待・不登校・親が入院などの一時的な養育困難など）で親と一緒に生活ができず、施設生活を余儀なくされています。必ずしも児童自身が施設生活に納得している状況ではありません。その中で学園生活と一般家庭との違和感の縮小に配慮しながら、退園後、将来に明るい展望がもて、社会的自立できるように、学力の向上や社会性の醸成に努力されています。

さて、我がクラブとこぼと学園の交流ですが、今年度は大きな事業が3つあります。

9月14日には、こぼと学園の夏祭りのくじ引き大会（大抽選会）のお手伝いをします。以前は夏祭りのバザーのお手伝いしていたのですが、2年前にバザー会場であった建物が、小規模グループケア施設『クローバーの家』にリフォームされて使用不可になり、一昨年よりグラウンドでの抽選会という形になっております。近隣の方々も集まり、抽選チケットを購入してくれます。豪華（目玉）商品の抽選のくじを引く時は凄く盛り上がり、夏祭りのフィナーレを飾る人気の一大イベントとなっています。

11月10日には、毎年恒例のみかん狩り&バーベキューを行ないます。みかん狩りは、学園の行事のなかでも一番人気があるとのことで、子供たちもこの日だけはクラブやアルバイトを休んででも参加するとのことです。

12月14日には、こぼと学園内でお餅つきがあります。杵と臼でつく本格的な餅つきで、つき立てのお餅をその場であんこや黄粉で頂くことができます。

私の家族も、このみかん狩りやお餅つきが大好きで、良く参加します。家族での行事参加について、我々が家族で楽しそうにしているところを、こぼと学園の子供達に見せるのは可哀想、という意見を聞くこともあります。この件については、こぼと学園の園長先生や、他の先生方と何度か話をしました。先生方としては、「是非、家族で参加してください」とのことです。それは社交辞令ではありません。「子供達が、社会に出たらもっと厳しい現実と直面するはずで、これくらいのことは問題ではない」、と言われます。それとまた普通の家庭を近くで見て、感じて欲しい、とも言われます。我々自身にも家族について考える、子供達に社会を教える場にして下さいともおっしゃっていました。しかし大人は難しく考えますが、子供たちはイベント自体に夢中で、凄く楽しそうです。みなさんも気軽に参加して下さい。人が多く集まれば活気が出て楽しいですから。そして普通に子供達と交流することが、自然と支援になると思います。

これからも、特別大きなことは出来なくても、自分達に出来ることを、直接子供達と触れ合いながら出来ればと思います。御静聴ありがとうございました。